

作業療法おかやま 執筆要領 ('10. 3. 31付) ('18. 1. 29一部改訂) ('21. 11. 2一部改訂)

1. 論文はMS-Wordで作成し、A4横書き20字×20行(印刷の向きは縦)に書式設定してください。
2. 論文は、表題頁、要旨、本文、文献、図・表から成るものとします。また必ず英文要旨をつけて下さい。
3. 表題頁には、論文種目(研究論文、実践報告など)、表題、著者名(5名まで、「投稿規定」3を参照)、所属、キーワード(学術誌「作業療法」第35巻第6号掲載のキーワード集より3~5個)を記載して下さい。また同じ頁に、これらに対応する英訳をつけて下さい。
4. すべての論文に300字以内の要旨と100~250ワードの英文要旨をつけて下さい(短報、実践報告の場合も同じ)。英文要旨は、著者の責任において、適正な英文原稿を提出して下さい。なお、学術誌編集委員会では英語を母国語とする人に英文の点検を依頼していますので、委員会の責任において、英文を変更させていただくことがあります。
5. 論文の本文は、原則として、はじめに、方法、結果、考察、結論が明らかになるように書いて下さい(特に「研究論文」の場合)。また、原稿には頁番号をつけて下さい。
6. 文章表現は以下の点に留意して下さい。
  - ①現代かなづかいとし、数字は算用数字、数量は国際単位系(SI単位)記号を用いる(例:m、cm、mm、ml、kg、cm<sup>2</sup>など)。
  - ②外国人の人名には原語を用い、活字体で明瞭に書く。
  - ③学術用語はできるだけ訳語を用い、必要に応じて( )内に原語を入れる。日本語化しているものはカタカナとする。
7. 倫理上の配慮について  
論文として掲載される研究は、調査・研究の倫理的原則に従ったものである必要があります。投稿者は研究対象者の権利を尊重した表現を行う義務があります。編集委員会は、必要に応じて、これらの事項に関する証明を投稿者をお願いすることがあります。なお倫理審査を経ている場合は、承認番号(ない時は、承認年月日)を記載して下さい。また、利益相反(COI)のある場合は、本文の最後(文献の前)に明記して下さい。
8. 引用・転載について  
論文作成にあたっては、著作権についての配慮を行って下さい。論文中に他の著作物からの引用を行うときには、その出典を明記して下さい。また、引用の範囲を超えた「転載」には、著作権者やその著作物の出版社の許諾が必要です。論文が掲載されるために必要となる「転載」についての手続きは、投稿者が責任を持つこととします。
9. 文献リストは引用文献のみとし、著者の姓のABC順または引用順に配列して下さい。著者名は、5名までを記載し、6名以上は“他”とすることを原則とし、表記の形式は以下の例にならして下さい。

【雑誌の場合】著者:論文タイトル. 雑誌名 巻数(号数):開始-終了ページ, 発行年.

【書籍の場合】  
[和書]著者(訳者・訳):章タイトル. 書籍の編者・編または監修者・監修, 書名(巻数)版数, 出版社,

発行都市, 発行年, pp.(開始-終了ページ)またはp.(単ページ).

[洋書]著者:章タイトル. 書籍の編者・編または監修者・監修, 書名(巻数)版数, 出版社, 発行都市, 発行年, pp.(開始-終了ページ)またはp.(単ページ).

- 1) 岩間孝暢, 原 英修, 清水 一:座位保持機能未獲得な重症心身障害児の姿勢と感覚遊び刺激に対する反応. 作業療法11:358-365, 1992.
  - 2) 中村隆一, 齊藤 宏:基礎運動学. 第3版, 医歯薬出版, 東京, 1987.
  - 3) 米倉豊子:内科的疾患に対する作業療法. 原, 鈴木・編, 作業療法各論(リハビリテーション医学全書10), 医歯薬出版, 東京, 1978, pp.393-406.
  - 4) Witt A, Cermak S, Coster W:Body part identification in 1- to 2-year-old children. Am J Occup Ther 44:147-153,1990.
  - 5) Enna CD:Peripheral Denervation of the Hand. Alan R Liss Inc., New York, 1988.
  - 6) Reid J:Computer and occupational therapy. In Creek J(ed), Occupational Therapy and Mental Health. Churchill Livingstone, New York, 1990, pp.267-288.
  - 7) Pinel P(影山任佐・訳):精神病に関する医学=哲学論. 中央洋書出版部, 東京, 1990.
  - 8) Cook AM, Hussey SM(上村智子・訳):作業療法実践のための電子支援技術. Pedretti・編著(宮前, 清水, 山口・監訳), 身体障害の作業療法, 改訂第4版, 協同医書出版社, 東京, 1999, pp.583-599.
  - 9) Chung JCC:Using problem-based learning (PBL) with Hong Kong occupational therapy students:Opportunities and challenges. Asian J Occup Ther 2:10-22, 2003. (on line), available from <[http://www.jstage.jst.go.jp/article/asiajot/2/1/10/\\_pdf/-char/ja/](http://www.jstage.jst.go.jp/article/asiajot/2/1/10/_pdf/-char/ja/)>, (accessed 2003-12-21).
  - 10) 日本作業療法士協会:学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針. [https://www.jaot.or.jp/academic\\_journal/gakujutsushi\\_rinri/](https://www.jaot.or.jp/academic_journal/gakujutsushi_rinri/)(参照 2020-06-15).
10. 図・表は次の点に留意して下さい。
- ①図は白黒で印刷されるので、鮮明でそのまま製版できるものを準備する。ただし、カラー印刷の希望がある場合は、学術誌編集委員会へお問い合わせ下さい。
  - ②写真(図として扱う)は、カラー写真より白黒写真の方がきれいに仕上がる。トリミングを工夫する。
  - ③図・表はすべて表題をつけ、それぞれを本文とは別にまとめる。図・表は必要があれば説明文も入れる。
  - ④本文中および欄外に図・表の挿入場所を明示する。
  - ⑤引用・転載の図・表は、それぞれの出典を明記する。